

風そよぐ

校訓：かしこく やさしく あかるく つよく

令和 2年 1月 9日 (木)

南関町立南関第四小学校 学校便り

No.10

文責：坂本 隆文

明けましておめでとうございます！



令和2年を迎えることができました。昨年度は、様々な学校行事等に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。おかげさまで、大きな事故やトラブル等もなく充実した毎日を過ごすことができました。



今年度の残り3ヶ月をさらに充実させて、六年生を中学校に送り出したいと思っています。

冬休み明け集会の中で、子どもたちには、次のような話をしました。

1 南関で一番あいさつが上手になろう！

やはり、あいさつが一番の基本です。明るく、元気よく、笑顔であいさつされるととっても気持ちがいいものです。子どもも大人も、誰にでも、気軽にみんな進んであいさつを交わすそんな学校、地域になるといいですね。

2 勉強をがんばろう！

子どもたちは、全員勉強が好きだとは限りません。でも、やっぱり勉強は大事です。今の学年で学習する内容は、3月までにきちんと終わることが必要です。4月からは、次の学年での学習がスタートするからです。1月8日から3月23日の修了式までで、登校するのは50日です。その間に、分からなかったことが分かるようになる、できなかったことができるようになる、解決できなかったことを解決できるようになる、そうすることで勉強の楽しさや喜びが実感できます。「勉強が好き」「授業が楽しい」という子は、それを経験している子どもたちです。四小の全員が勉強することの喜びや授業の楽しさを感じられるよう、先生方と子どもたちみんなで行っていきたくと思っています。

本校ホームページの充実！

ホームページをリニューアルし、充実を図っています。コンセプトは、「便利で役に立つ」です。授業参観やPTA行事のお知らせプリントを子どもたちに持たせませんが、その配布したプリント類も、「学校からのお知らせ」のページに掲載して、保護者の方が職場などからでも内容を確認できるようにしました。毎月の行事予定も掲載していますので、学校の行事や児童の下校時刻なども分かります。また、「学校生活」には、行事での子どもたちの様子を写真で紹介していますし、「学校便り」もNo.1から掲載しています。パソコンだけでなく、スマホでも見やすいようにしています。おかげさまで、年度当初の4月～7月は、アクセスが1日平均13件だったのですが、7月～11月は平均26件、11月～1月は平均81件と増加しています。今日現在のアクセスカウンタ数は、11,922です。今後できるだけ、いろいろな情報を掲載して、開かれた学校にしていきたいと考えています。こんな情報も載せてほしいといったご要望があれば、ぜひお寄せください。



現在は ・学校の概要 ・本校の教育 ・学校生活 ・学校からのお知らせ ・学校便り ・行事予定表 等です。

校内人権集会

12月11日(水)

2～3校時に開催しました。人権旬間で取り組んだ各学年での人権学習をもとに、それぞれの学年の代表者が発表し、その発表に対する返しの言葉を出し合いました。



四小人権宣言 二〇一九
よい四小をつくるために
いまの四小は、困っている人がいたら助け合っている。おたがいに協力し合っている。でも自分の言いたいことを言えない人がいる。言いたくても言えない人がいる。「どうしたと?」「何かあったと?」「だいじょうぶ?」と、声をかけよう。そして、友だちの話をきこう。心の中の気持ちを考えてみよう。それが、友だちを上げます。それが、友だちを大切にすること。それが、四小にとってなにかまになることだ。

最後に、四小人権宣言を発表して終わりました。

みんなが、自分のことだけでなくまわりの人を気遣えるようになると、もっともっとすばらしい四小になっていくことでしょう。



業務改善に取り組んでいます！

南関町教育委員会では、今年度から業務改善加速事業の指定を受けて、業務の効率化に向けて取り組みを行っています。その目的は、これまでの業務をゼロベースで見直し、無駄を省くことによって、教員が子どもたちに向き合う時間を確保することです。

そのために、各種会議等の見直し、研修等の効率化、各種行事事務や日常の事務処理の効率化、定時退勤日の設定（毎週金曜日午後5時30分退勤）、パソコンソフトの活用による効率化とペーパーレス化等々です。職員が、子どもたちとじっくりと向き合い、充実した授業や子どもたちとの信頼関係づくりができるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

困ったときは気軽にご相談を！

子どもたちの教育や子育てのことで、いろいろな悩み事や不安に感じられることがおありの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そんな時は、いつでもお気軽に学校にご相談下さい。心の成長、体の成長、学力、体罰、SNS等々、本校職員だけでは解決が難しい場合は、様々な公的機関等（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子育て支援課…）をご紹介することもできます。学校の窓口は、小野教頭、田畑養護教諭となっています。